

¥0 TAKE FREE

千林かいわいの暮らしを
もっと、楽しくするフリーペーパー

2017.6
#26

みてみて 1000ピース!!

【特集】 千林の路地に魅せられて マジック

1000
ピースプロジェクト



千林には、あっちこっちに色んな路地がいっぱい!
新たな発見を求めて、ぶらぶら路地裏さんぽ。

【松田海苔店】 写真:とっしー 題字:あっちゃん

3【再会】

【喫茶】
風格のある喫茶【再会】の創業当時は音楽とお酒とコーヒーのお店でした。初代マスターの竹村正明さんは、電気機器と音楽が趣味。壁一面にスピーカーを埋め込んだ店内は、音楽好きの常連さん達で毎日大賑わいだったそうです。その賑わいを知ってか、周りに喫茶店をはじめめる人達が増え、お隣の5件せくぶんが喫茶店だった時代もあるそうです。



現在は、3代目の竹村佳恵さんと、真理子さんの二人三脚で経営されています。2人が醸し出す穏やかな空気が、コーヒーの香りと相まって、最高に居心地の良い空間を作っています。フードメニューも豊富。女性目線で考案されたタマゴサンドが特にオススメです。(文:あっちゃん 写真:とっしー、竹村佳恵さん)



▲(左)人気メニューのタマゴサンド(ハーフ)と(右)みかんの味が強めのミックスジュースは、マスターおすすめの組み合わせ!

再会

大阪市旭区千林2-15-18
☎06-6953-9761
◎9:00~20:00



マスターが仕事終わりに必ず飲む赤ワインのカクテル。

4【ワンモア】

【サウンド&カラオケバー】
あじな商店街を通るたび、いつも気になっていた【ワンモア】さん。入ってみたいけど、ちょっとオトナな雰囲気も躊躇して...でも今日は、勇気を出して入店してみました。

2代目マスター竹村俊彦さんは、生まれも育ちも千林。どんな相談にも乗ってくれそうな優しいオーラを感じます。カクテルもお店の雰囲気も最高。なぜもっと早く勇気を出さなかったのか悔やまれます。

バーの奥には広大なカラオケスペースが！ステージにはライブハウス顔負けの照明、ドラムセットまであります。35年前、歌うといえはスナックのようなお店ばかりだったとか。演歌が嫌いな初代マスターは、「聖子ちゃん歌いたい!カラオケのお店がしたい!」との想いでワンモアを創業させたのだそうです。

ゆつくり飲んだり、歌ったり、その日の気分を楽しめる素敵なバーでした。(勇気を出してよかった!!) (文:写真:とっしー)

ワンモア 2代目マスター竹村俊彦さん。おちゃめな本気で話しやすいマスターです。姉妹店【再会】でも会えるかも?

カラオケスペース

ワンモア
大阪市旭区千林2-14-22 お祭り広場2F
☎06-6951-1165
◎18:00~3:00
テーブルチャージ 1500円
(ファーストドリンク+チャーム)
カラオケスペース 300円/1H

路地マジック

路地があると入りたくなる。それは、路地の魔法。そんな路地好きな貴方の特集です。

1【松田海苔店】

創業大正15年。【松田海苔店】は、千林商店街から路地に入る出会える老舗。海苔以外にも乾物は何でも扱っている。しかも素材は99%国産。0.1%はふりかけに使われている胡麻のみ。産地にとことんこだわった逸品を求め、千林住民はもちろん、遠方からのお客さんも多い。店主・昭男さんの商品に対する情熱には凄いのがある。「仕入れたものをそのまま売るだけじゃ面白くないし、チャージミングな名前を付けて販売したり、知人に依頼して(百万円かけて)オリジナルふりかけ製造マシンを開発する程。路地裏店主の底力と商人魂に感服した。(文:あっちゃん 写真:とっしー)

松田海苔店こだわりの商品を紹介!

▲商品名が、「144枚」大判の海苔をカットしていくと144枚になることから命名。

▲「こだわりふりかけ」人気ナンバーワン!京都の銀閣寺や奈良の薬師寺へも納品しているそうです。「のりごま君」は、こだわりふりかけの製造時に出る細かくなった部分を集めた商品。おにぎり用に最適!

▲二代目店主 松田昭男さん

松田海苔店

大阪市旭区千林2-12-16
☎06-6954-0495
◎9:00~18:00
定休日:火曜日



▲ハンドメイドアクセサリーと人気のワイヤーフック。シンプルなのでどんなインテリアにも合わせやすい。

猫降る午後

大阪市旭区千林2-11-32 田中ビル1F
☎06-6955-6790
◎11:00~19:00
定休日:火曜日
●http://nekofullgogo.blog.fc2.com/

2【猫降る午後】

【雑貨屋】
千林商店街の路地にお店をオープンして6年目になる【猫降る午後】の店長の原さんは、猫と雑貨が大好き。なんともお店のネーミングがユニーク!「降る」は「FULL(あふれるほどの)」「午後」は「GOGO(行くー行くー)」と英語でひらめいたそうです。「猫があふれるほど」といっはいあるこの店へ「行くー行くー」という意味になります。そうだったのか!
猫グッズばかりと思いきや、小動物が好きな原さんが選んだ可愛いグッズ、オリジナル作家さんのハンドメイド雑貨、アンティークなアメリカン雑貨などもあります。お値段も思っているよりずーっとリーズナブルなので思わず2つ3つ買いたくなりま。若い人や子どもさんにも喜んでもらえるものがいっぱいあるので気軽に買ってもらえたらうれしいです。(文:あっちゃん 写真:とっしー)



5【ロジイカフェ】

【生パスタ】
千林商店街から路地へ入ると飛び出し坊やが目印のお店があります。その名も「ロジイカフェ」。路地にあるからロジイ。なるほど覚えやすい!
マスターの松田さんは30歳の時「自由でわがままな空間」を作りたい!と脱サラ。その後、修行のため門をたたいた喫茶店(だと思っていた)がまさかのイタリアン。そのオーナーから「料理のハマリ方」を学んだそうです。また、生パスタの食品工場で働いていたこともあり、自然とイタリアンのお店を始められたそうです。

そして、注目してほしいのがお店の外にある緑色の提灯。地場産の食材を使っているお店の証なんです。「開店前は気付か

なかったのですが、年配のお客さんや、アレルギーを持つお子さんも多く来店されます。全て無農薬野菜を使うのは難しいのですが、できる範囲で頑張りたい、休日に大阪近郊の農家へ行って、安全な野菜を買い付けたり、市場に出回らない珍しい野菜を探したりと、旅みたくに楽しみながらやっています。マスターのお話を聞いて、ファンになってしまいました。

デザート担当の新田さんも想いは同じ。安心して食べられる無添加の素材を使った(ドライフルーツやナッツのラム酒漬け等も自家製)季節のデザートはどれも絶品です。

マスターの目指した「自由でわがままな空間」は、「お客さん皆が安心して楽しめる優しいお店」へと進化してきているんだなあと感じました。(文:写真:とっしー)

▲色鮮やかな紅芯大根とサーモンと豆苗のマリネ。
▼オリーブとケッパーのトマトソースパスタ。トマトとケッパーの酸味がよく合っていておいしい。

ほぼ毎月開催されるロジイマルシェ。マスター 買い付けのお野菜などが並びます。



▲(右)マスターの松田さんと(左)デザート担当の新田さんは、工芸高校の同級生。その繋がりもあり「ウラ工芸展」なるものを毎年開催。

ロジイカフェ
大阪市旭区千林2-12-26
☎080-4392-3108
◎11:30~14:30(Lo)/18:00~21:00(Lo)
定休日:火曜日
●www.facebook.com/lojiycafe



飛び出し坊や コレクション

▲ロジイカフェの看板飛び出し坊や。ペロっと出した舌が可愛い。裏の顔があるそうなので、是非現地でチェックしてみてくださいね。



▲▼2015年に1000ピースが旭警察署の方と協力して制作した飛び出し坊やたち。旭区内に4体設置しました!ドタバタ制作秘話は1000ピースHPでチェック!
http://1000pp.jp/post/15172



二回目リーダー。1000ピースがきっかけで千林に引越してきたデザイナー。

陶器やまもと三代目。千林商店街期待の星! 1000ピースの相談役。

現在、約25名のメンバーで活動中!
福岡から単身赴任中!

リーダー: さかもつちゃん 副リーダー: やまちゃん 最近引っ越してきた! 生まれも育ちも千林!



1000人かピース写真

千林ファン1000人のピース写真を撮影するぞ~!というコーナー。この企画がスタートしたのは2013年。撮影させてもらった千林ファン現在647人! 1000人まであと353人! え? 前回からあんまり増えてない? ...いやいやそんなこと言わずに、まだゴールしたくない! そんな大人気企画です。

今回のピース写真は、**1000ピース新メンバー**のご紹介。
色んな職業のメンバーが集まりました! 6年目も楽しい活動になりそう!



私たちに、千林界隈の〇〇が好き!

- ひじりん 美容師
- やぎちゃん おむつ宅配業
- しのぶちゃん 会社員

1000ピースプロジェクトとは、千林界隈の暮らしをもっと楽しくするプロジェクト。千林と、周辺の街全体をフィールドに活動しています。暮らしの中で見つけた魅力的な人、物、場所を取材して発信。さらに街の人と交流しながら新たな楽しさを作っていきます。

●1000ピースプロジェクト ホームページ <http://1000ppj.jp>
●Facebookページに「いいね」をお願いします!
●1000ピースプロジェクト 検索

ミーティング

月1回メンバーが集まり、自主イベント企画の内容やフリーペーパーの構成など、その時々課題を雑談も交えながら時には真剣に皆で考えています。

プチトピックス

1000ピースプロジェクト

▲読み方は、「センピースプロジェクト」。だけど数字(1000)を飛ばされ、たまに「ピースプロジェクト」と呼ばれます。ちょっと淋しい。



▲本誌「みてみて1000ピース!!」の記事は、公式サイトにて読むことができます。紙面では、紹介し切れない情報も載っているので要チェック!(<http://1000ppj.jp>)



▲1000ピースで取材させていただいた人やお店にお渡ししているステッカー。即ち! 1000ピースプロジェクトお始めの人やお店の印です。

城北公園フェア

地域ブースにて地ビールの販売を行いました! 2017年の今年は3回目の参加です。地域イベントを盛り上げると共に活動費の一部となる大事なイベントなんです。

夏祭り

千林や京かい道商店街の夏祭りに毎年参加しています! 今年は、子どもたちに喜んでもらえそうな新たなゲームを企画中! お楽しみに!

みんなのフォークダンス

大阪工業大学の学園祭「城北祭」にてフォークダンスを踊ろう! という自主イベントを開催。フォークダンスなんて何年ぶり?! と戸惑いながらも踊るとみんな笑顔に。

白地図プロジェクト

思い思いの千林界隈を描いた地図を展示し地域の人達とコミュニケーションを図る自主イベントを開催。まだまだ知らない千林がたくさん発見できました。

千林昭和写真展

千林昭和博覧会第3回は、千林商店街と協力し千林界隈の昭和写真を集めて展示しました。予想以上の来場数となり、早くも第4回の構想を企画中!

▲千林商店街で配られている商店街の店舗マップ。デザインやイラスト、おススメ商品のセレクトなど協力して出来上がりました。

1000ピースでは、メンバーがやりたい! という企画を皆で実現します!



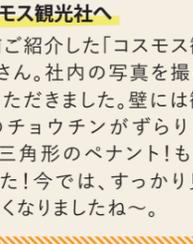
まずは、昭和スポットで撮影!



偶然お会いしたのは老舗ふとん店の「おぐら屋」さん。「昭和がしてるの?うち井戸あるよ。」と、大正時代に建てられたお店の奥に案内していただく。なんと井戸が! これにはメンバー大興奮!まさに昭和~!
※特別に撮影させていただきました。



まずは、昭和スポットで撮影!



偶然お会いしたのは老舗ふとん店の「おぐら屋」さん。「昭和がしてるの?うち井戸あるよ。」と、大正時代に建てられたお店の奥に案内していただく。なんと井戸が! これにはメンバー大興奮!まさに昭和~!
※特別に撮影させていただきました。

あじな商店街へ
千林商店街の路地から入っていきますよ。(手芸屋「あみあみ」さんと「力餅」さんの間)夜はネオンが煌き、いっそう昭和な空間になりますよ~。



ヤシの木みたいな木! 気分はまるで憧れのハワイ! (昔、テレビのクイズ番組の優勝商品は必ずハワイ旅行でしたね)



こちらの通りには、老舗のバーがあります。看板がナウイ!



森小路へ
さらにブラブラ。魅力的な路地もたくさんありました。歩けば歩くほど昭和が見つかる千林界隈。ますます好きになりました!

千林界隈の路地

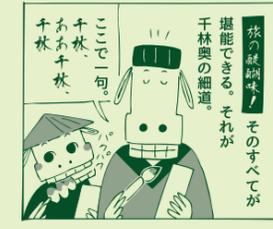
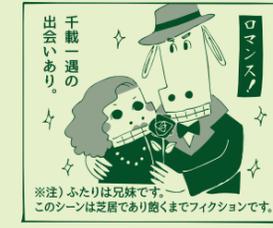
いくつ知ってるかな?

路地とは...建物の建物の間の狭い道のことだよ!

路地探検隊: ダイキ、あつちゃん、さかもつちゃん

ぜんぶわかたらうちはかせ!

かまへん! しもつちゃん!! 第6回 千林奥の細道



しもつちゃん▶千林に住みついたシミマイ。緑色だけどワニではない。カバでもウシでもない。路地の名店「丸正 原食品」のホルモン焼きが大好き。

しっしー▶千林に住みついたシミマイの妹。自由奔放な性格。路地の名店「Cafe AZU」のハンバーグが大好き。

作:青桃▶ある時は市商店街で入江薬局を、またある時は小説家を、しかしてその実体は! 二足のわらじで駆け抜ける青桃です。「近い所へ行きたい!どこか近い所へ!」あな千林の路地へ行きたいなあ~♪ 青桃「千林に吹かれて」より

あじなの路地は洗濯場だった!?

あじな商店街のこの路地。少し凹んでいて、大雨の日には大きな水たまりができてびっくりする所。実はここ、昔は川が流れていて、丁度水の溜まるこの場所は「洗濯場」だったそうです。地域の奥様たちが集って、洗濯しながらいろんなことを話す憩いの場だったのでしょね。

作:青桃▶ある時は市商店街で入江薬局を、またある時は小説家を、しかしてその実体は! 二足のわらじで駆け抜ける青桃です。「近い所へ行きたい!どこか近い所へ!」あな千林の路地へ行きたいなあ~♪ 青桃「千林に吹かれて」より

画:さかもつちゃん▶1000ピースがきっかけで千林に引っ越してきたデザイナー。千林に越して3年半。いまだ千林の複雑な路地に翻弄されっぱなし。